



2018年度
(2019年3月期)
中間決算報告

NSユナイテッド海運株式会社

2018年10月31日

目次

1. 中間期業績の概要	p. 2
セグメント別概況	p. 3
2. 通期業績の見通し	p. 4
対前年度比変動要因	p. 5
3. 業績ハイライト	p. 6
4. 中期経営計画の進捗状況	p. 7
付) 第2四半期末運航船腹	p. 8

1. 中間期業績の概要

- ◆ 為替レートは期中平均で若干の前期比円高となったものの、期末にかけて円安が進行
- ◆ 燃料油価格上昇も、新鋭船投入や外航市況好転、内航部門での収益確保により、前年同期比増収増益
- ◆ 特別利益に中古船売却益10億円、特別損失に用船解約金5億円を計上

【連結】 (単位: 億円)	2017年度						2018年度			上期 前期比 増減
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上期	
売上高	343	334	677	361	352	1,390	375	386	761	+ 84
営業利益	20	19	38	27	8	74	19	29	48	+ 9
経常利益	16	16	31	24	1	56	18	26	45	+ 13
親会社株主に帰属する 当期純利益	20	17	37	26	3	66	12	32	44	+ 7
期中平均為替レート	¥111.00	¥111.00	¥111.00	¥112.33	¥110.33	¥111.17	¥108.00	¥111.33	¥109.67	
燃料油消費単価(C重油)	\$344	\$325	\$334	\$351	\$397	\$354	\$411	\$448	\$429	

連結キャッシュ・フロー概要

営業CF	89	158	98
内、減価償却費	80	156	74
投資CF	▲ 26	▲ 65	▲ 6
フリーCF	64	93	93

1. 中間期業績の概要

◆セグメント別概況

外航 ドライバルクは底堅い輸送需要に支えられ概ね当初予想通りの市況水準で推移

入渠増により専用船の稼働日数減少も、効率的な運航・配船に努め前年同期比增收増益

内航 台風による影響を受けるも、鉄鋼副原料を中心に輸送量が増加し前年同期比增收増益

(上段：売上高、下段：営業利益)

【連結】 (単位：億円)	2017年度						2018年度			上期 前期比 増減
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上期	
外航	288	276	565	303	294	1,162	314	326	640	+75
	19	14	33	22	5	60	14	24	39	+5
内航	54	56	110	56	57	223	60	59	119	+8
	1	5	5	5	3	13	5	5	9	+4
その他 及び調整額	1	1	2	1	2	5	1	1	2	0
▲ 0	▲ 0	▲ 0	▲ 0	0	▲ 0	▲ 0	▲ 0	▲ 0	▲ 0	0
合計	343	334	677	361	352	1,390	375	386	761	+84
	20	19	38	27	8	74	19	29	48	+9

2.通期業績の見通し

外航部門 ドライバルクは安定した専用船収益に加え、市況と運航効率の改善により前年度比増収増益
燃料価格調整付き運賃並びにバンカーヘッジにより燃料油価格変動に対する影響は軽微

内航部門 天候不順の影響を受けるも、ドライ貨物の底堅い荷動きにより前年度比増収増益

特別損益 省エネ型新造船投入を控え既存船腹を処分することから、上期に続き特別利益を計上

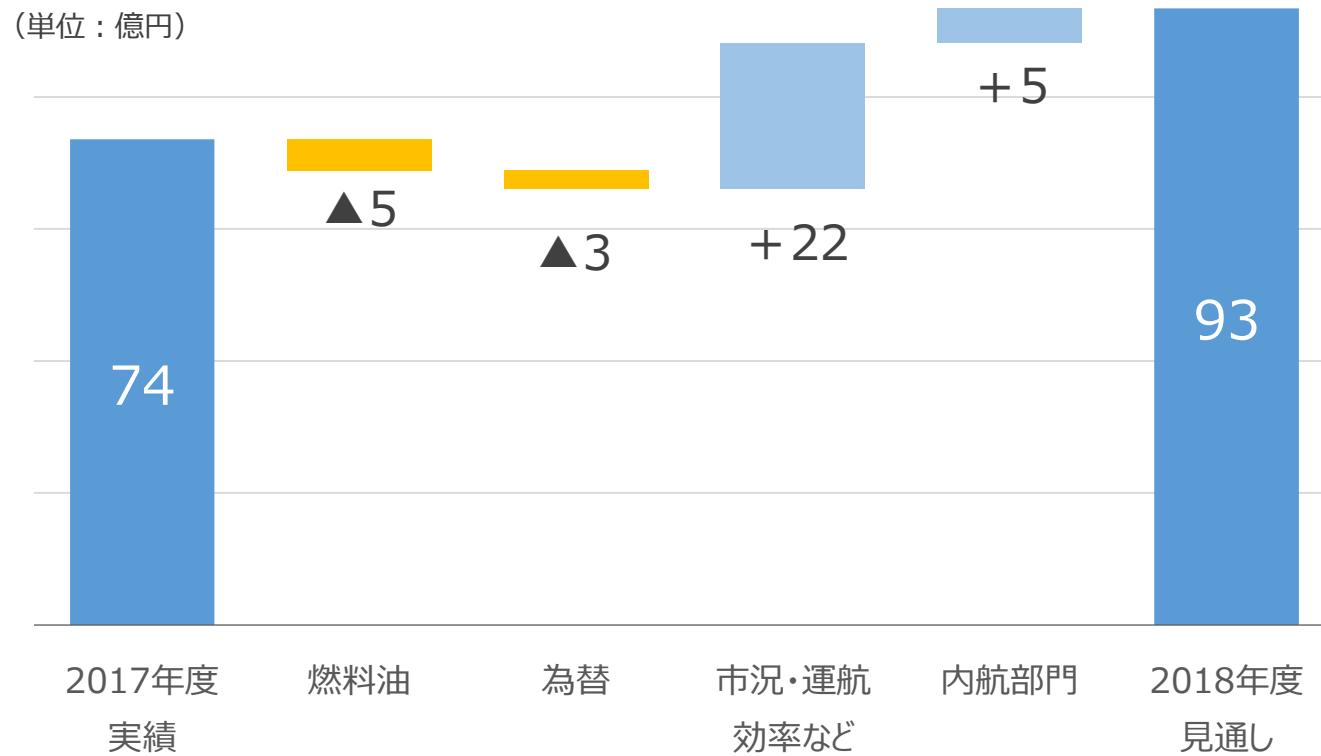
【連結】 (単位: 億円)	2017年度			2018年度			前期比 増減	前回 通期予想 (7月31日開示)	前回 予想比 増減
	上期 (実績)	下期 (実績)	通期 (実績)	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)			
売上高	677	713	1,390	761	759	1,520	+130	1,450	+70
営業利益	38	35	74	48	45	93	+19	75	+18
経常利益	31	24	55	45	36	81	+26	61	+20
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	29	66	44	46	90	+24	78	+12

◆2018年度下期 為替前提 ¥110、燃料油価格前提 (C重油) \$500/MT

◆用船市況 (太平洋水域)	2017年度			2018年度		
	上期	下期	通期	上期	下期前提	通期
船型	ケープサイズ	\$13,440	\$17,534	\$15,471	\$17,946	\$20,000
	パナマックス	\$8,994	\$11,117	\$10,047	\$10,571	\$11,000
	ハンディマックス	\$8,216	\$9,248	\$8,728	\$11,078	\$11,000
	スマールハンディ	\$6,816	\$8,069	\$7,438	\$8,299	\$9,500

2.通期業績の見通し

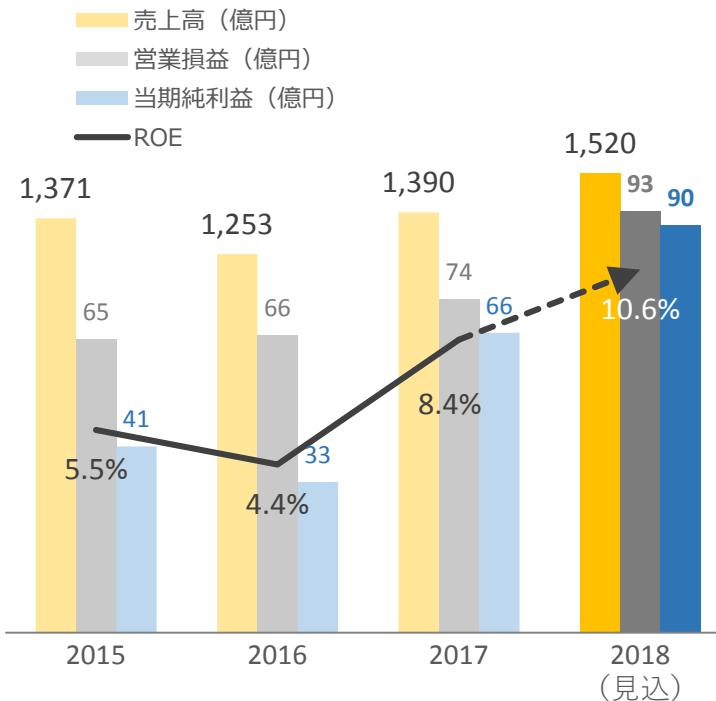
◆ 対前年度比変動要因（営業利益）



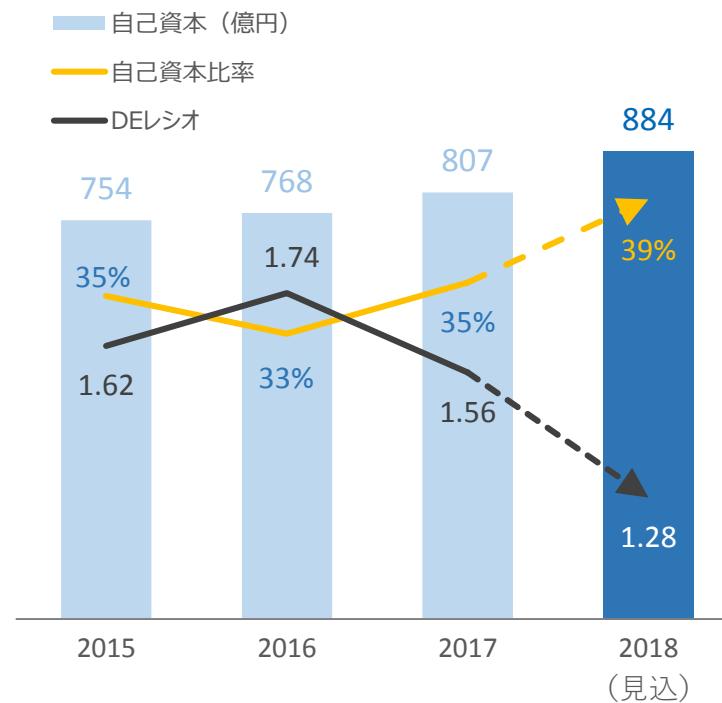
3. 業績ハイライト

～ 安定したビジネスモデル～

◆ 営業利益と当期純利益



◆ 自己資本とDEレシオ



インダストリアルキャリアとしての事業基盤を活かし、海運業界を襲った未曾有の不況の中でも安定的に利益を計上。

市況回復局面においてはコモンキャリア的側面を活かし、着実に利益を積上げる。

継続的な利益の計上により、健全かつ安定した財務体质を構築。

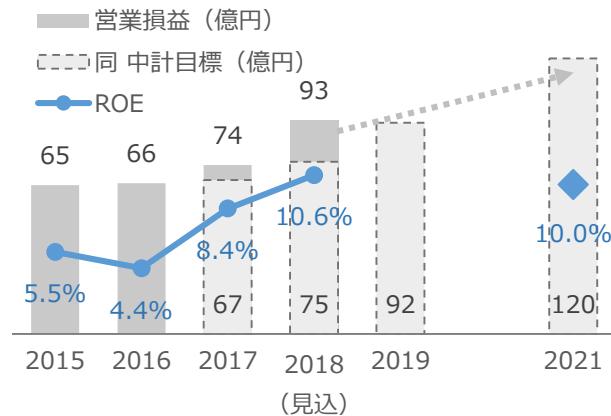
4. 中期経営計画「NSU2021」進捗状況

～さらなる成長に向けて～

◆外航船隊整備計画



◆営業利益と当期純利益



◆安定収益事業の拡充

- 新日鐵住金など内外製鉄会社と中・長期輸送契約を締結
- ブラジル資源メジャーValeと大型鉱石船（Valemax）による長期輸送契約締結

◆環境にやさしくコスト競争力に優れた船隊の整備

- 省エネ性能に優れた新造船への入れ替え
- 2020年のSOx排出規制強化を前にスクラバーを搭載

◆「NSU2021」目標達成に向けた着実な歩み

2018年度

戦略的船隊整備に伴う船腹入替えの中、前年度比增收増益

2019年度

省エネ型新造船の竣工が本格化し前年度比で収益力がアップ

2020年度～

新たに締結した長期輸送契約がフル稼働となり、一層の収益力アップが図られる

付) 第2四半期末運航船腹

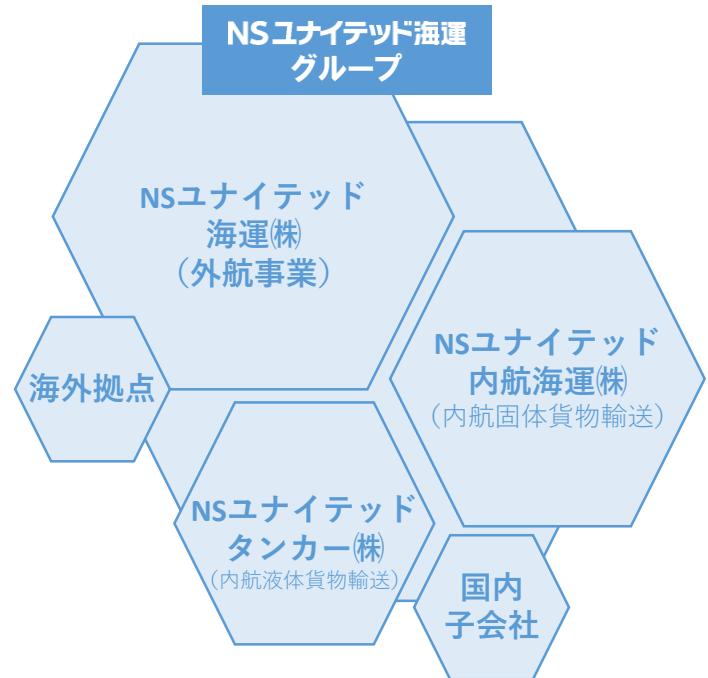
船種	2018年3月末 合計	2018年9月末			18/3末比 増減
		所有	用船	合計	
鉄鋼原料船	45隻	27隻	14隻	41隻	▲ 4隻
パナマックス	24隻	4隻	18隻	22隻	▲ 2隻
ハンディマックス	13隻	1隻	15隻	16隻	+ 3隻
スマールハンディ	18隻	2隻	15隻	17隻	▲ 1隻
近海船	24隻	0隻	25隻	25隻	+ 1隻
LPG/原油タンカー	4隻	4隻	0隻	4隻	-
外航船 小計	128隻	38隻	87隻	125隻	▲ 3隻
内航船	78隻	22隻	56隻	78隻	-
合計	206隻	60隻	143隻	203隻	▲ 3隻

NSユナイテッド海運株式会社

NSユナイテッド海運グループは、
誠実で良質な海上輸送サービスの提供を通じて
社会の発展に貢献します。

(本資料に関する注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が
本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したもので
あり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。



当社ウェブサイト：<http://www.nsuship.co.jp>

本資料についてのお問い合わせ先：03-6895-6411